

## 1. はじめに

近年、社会の急速な変化や国際化に対応できる質の高い人材の育成が高等教育機関に求められています。そして、自らが学び課題を解決する方法を学ぶアクティブラーニングが注目されています。効果的なアクティブラーニングの実践には**学生間のディスカッションが重要視**されます。しかし、学生が行うディスカッションには、次の3つの問題があります。

- ① 特定の人ばかりが発言し、発言しない人がある
- ② 意見に対する賛成・反対等の意思表示が無い
- ③ 自分のディスカッションの弱点がわからないのでディスカッションが上達しない

そこで、私たちが提案する DiscussionNavi は、IT を用いて**ディスカッション**に見える化し、学生が自らの力による**ディスカッションスキル**の向上をサポートします。

## 2. ディスカッションの問題解決方法

本システムは、「発言メーター」「会議メーター」「DiscussionNavi アプリ」を使って問題を解決します(図1)。



図1: DiscussionNavi を使ってディスカッション

- ① 特定の人ばかりが発言し、発言しない人がある  
話者の目の前に置く発言メーターに、個々の発言状態が LED の色でリアルタイムに表示されます。学生はその色を見て「**発言しすぎ**」「**発言しなさすぎ**」を**ディスカッション中に改善**することが出来ます。また、会議メーターの色を確認することで、グループ全体のディスカッション状況も分かります。
- ②意見に対する賛成・反対等の意思表示が無い

発言メーターに付いているボタンを押すと現在の発言者に対し「いいね！」のリアクションをすることができ、話者の発言メーターに反映されます。**発言者はより自信をもってディスカッションに参加**できます。

③自分のディスカッションの弱点がわからないのでディスカッションが上達しない

ディスカッション終了後、DiscussionNavi アプリを使って**ディスカッション全体の様子を振り返る**ことによって、自分の弱点を認識し、次回のディスカッションに活かせます。

## 3. システム構成図

DiscussionNavi のシステム構成図を示します(図2)。

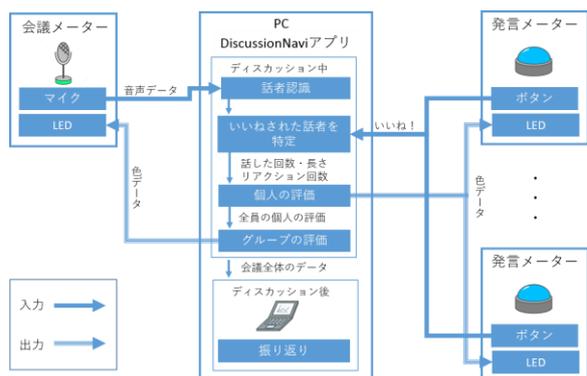


図2.: DiscussionNavi のシステム構成図

発言メーター：個人の発言状態を LED に表示し、他のメンバーの発言に「いいね！」を付けます。

会議メーター：LED にグループの発言状態を表示し、マイクで音声を取得します。

DiscussionNavi アプリ:音声を解析し話者認識により発言者を特定し個人・グループを評価し、ディスカッション終了後、発言状態を確認出来ます。

## 4. おわりに

ディスカッションの見える化と振り返りで学生自身の力で問題点を改善するセルフファシリテーションにより**ディスカッションスキルを向上**し、教育効果の高いアクティブラーニングの実現を通して、**グローバル社会を支える人材の育成に貢献**します。